

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【蓮沼小・中・中等教育学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題> 「当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。」 <指導上の課題> 児童が自らの学びを振り返る時間を確保しているが、児童の自己調整する方法をここに合わせて指導することが不十分である。	⇒ 「基礎定着」の時間を設け、児童の実態に合わせてドリルパークやスタディサプリ等を効果的に活用し、国語の基礎・基本となる語彙等の反復・習熟に取り組み、【2週間に1度】スケジュール等を使い個別に学習計画を立てる(見直す)時間を設定する。【月に1度】学習の振り返りを実施し、授業において、一人ひとりの児童に合う課題を設定したり、児童が主体的に課題を解決したりする場を設定する【毎授業で5分実施】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 「話すこと・聞くこと」が課題である。 <指導上の課題> 児童一人ひとりに合った自己表現する方法を教師が十分に評価し改善策を提案できていない。	⇒ 「話すこと・聞くこと」が課題であるため、様々な教科で、話し手の意図をとらえながら聞き、必要に応じて記録を取り、自分の考えがもてるようにするために、活動の中に共同編集を位置付け、協働的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるようにする【R6年度さいたま市学習状況調査】学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。の質問事項において【肯定的な回答の割合を90%以上】

⑤	評価(※)	調査結果	授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現			結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)